

がん予防のススメ Vol.14

脳腫瘍の 早期発見のために



徳島大学病院
脳神経外科副科長

影治 照喜氏

脳腫瘍の発生頻
度は一年間に人口

十万人当たり十〜十二人程度であり他の臓器の腫瘍に比べて決して高い頻度ではありません。しかし最近では脳ドックで脳腫瘍が偶然に見つかる場合も増えていきます。脳腫瘍の中には短期間のうちに急激に増大する悪性のものから、非常に発育の遅い良性のものがあります。慢性の頭痛、嘔吐や食欲不振が比較的共通の症状のことが多いです。また運動麻痺や感覚障害、さらに視力・視野障害が徐々に進行する場合は要注意です。脳腫瘍の症状の特徴は症状が進行していく点です。

最近ではCTやMRIだけでなくPETなどから腫瘍の正確な部位や悪性度を診断できるようになっています。

これらの症状を感じた場合は専門の病院を受診することをお勧めします。



徳島大学病院がん診療連携センター

お問い合わせ

■徳島大学病院: Tel.088-631-3111

■がん診療連携センター: Tel.088-633-7312

■徳島がん対策センター相談窓口: Tel.088-633-9438